

ご意見と回答

提案・意見

生活保護者の給付金(回答:7月17日時点)

(2026年7月受付)

生活保護を受けています。金額が少ない気がします。月2万円ほどしかないのです。食費にしても値上がりで食べ物も十分に買えず一日一食とか飢え死に覚悟もする。基準が今の現状と合っていないようです。伊勢市の援助は全国最低で恥じるべきでないですか。せめて増額をと生活保護者皆が思ってる事と思います。また生活保護者も貰える給付金などはないのかしら。

回答

伊勢市の生活保護費が全国最低レベルではないかとのことのご意見につきまして、伊勢市が生活保護費の額を独自に決定している訳ではございません。厚生労働省が地域ごとの物価や生活水準の差を生活保護費に反映させるために定めた基準に基づいて、支給しております。

伊勢市は3級地-1という基準であり、三重県内多くの市町がこの基準となっております。また、全国的には伊勢市よりもさらに低い基準の自治体も存在していることから、全国最低水準ということでは決してありません。

この基準につきまして、ご意見がございましたら、大変心苦しいですが、厚生労働省にお問合せいただくのがよろしいかと存じます。

また、担当ケースワーカーにご相談いただければ、ひと月の保護費の算定状況等について、詳細に説明させていただきますので、お気軽にお問合せ下さい。

生活支援課(2026年7月回答(7月11日~17日))

カテゴリ:健康・福祉・子育て・教育>福祉

ご意見と回答

提案・意見

小笠原諸島父島を訪れて(回答:7月16日時点)
(2026年7月受付)

私は二見町出身、京都市在住です。先日、小笠原諸島の父島を訪れ、二見港について知る機会がありました。

現地では、二見港の名称は伊勢市二見浦に由来し、夫婦岩に似た岩があることから名付けられたと聞きました。その話を知り、とても親しみを感じるとともに、遠く離れた小笠原と二見浦との不思議なご縁に感動しました。

帰宅後、伊勢市のホームページなどで関連する記載を探してみましたが、私が見た限りでは詳しい紹介を見つけることができませんでした。もしこの由来が事実であれば、市民や観光客にとっても興味深い歴史・文化的なつながりではないかと思います。

過去に小笠原村との交流や調査、情報発信などの取り組みがあったのか、また今後こうしたご縁を紹介する機会があるのか、お聞かせいただければ幸いです。

遠く離れた地域同士のつながりが、今後さらに多くの方に知られることを願っております。

(行くとなるとほんとうに遠くて時間もお金もかかりますが、、)

回答

二見港の名称由来につきまして、小笠原村のホームページでは、二見湾の名称が「伊勢市二見浦」に由来し、夫婦岩に似た岩があることから名付けられたと紹介されていることを確認致しました。貴重なご縁をご紹介いただき、ありがとうございます。

名付けの由来に関しましては、『小笠原島誌纂』(1888 年)の記載から事実であると考えます。しかしながら、この名付けにおいて、伊勢市が関わったという情報は見つけることができませんでした。伊勢市と小笠原諸島の間に歴史的なつながりがあった可能性は低いと思われます。

また、現時点で伊勢市が小笠原諸島との交流や情報発信等の取り組みを実施した事例は確認できておりません。

伊勢市と小笠原諸島とのつながりは、市民や観光客の皆様にとっても興味深い情報です。今後、伊勢市からご紹介できる機会がございましたら、情報発信等に努めて参ります。

文化政策課(2026 年 7 月回答(7 月 11 日～17 日))

カテゴリ:その他>その他

ご意見と回答

提案・意見

明野資源拠点ステーションについて(回答:7月14日時点)
(2026年7月受付)

明野の資源拠点ステーションへのアクセス道路を促す看板が建てられており(それ自体どれほどの効力があるものかわかりませんが)1本道しか使えません。細く対向が難しい箇所もあるので危険な道です。その道を整備して拡幅するか、他の道を利用できるようにするか、もっと安全で利用しやすい場所に資源拠点ステーションの移動をお願いします。

回答

明野資源拠点ステーションへの案内看板につきましては、自治会から東新村の在所内を通らないよう要望を頂戴しておりましたことから、案内看板を設置させていただいております。

また、現状におきましては道路の拡幅や資源拠点ステーションの移動は予定しておりませんので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

ごみ減量課(2026年7月回答(7月11日~17日))
カテゴリ:くらし・環境>ごみ